

## 中国仏教史(2)

### 中国仏教史の時代区分

(鎌田茂雄著『中国仏教史』第1巻 1982年 東京大学出版会 P70~ )

- 第1期 初期翻訳時代 仏教伝来から東晋まで
- 第2期 準備育成時代 鳩摩羅什から南北朝末まで
- 第3期 諸宗成立時代 隋(581~617)・唐(618~907)時代
- 第4期 同化融合時代 宋代以後

### 第3期 諸宗成立時代 (中国仏教の成熟)

- ・玄奘(602-664年)の活躍。76部1347巻を翻訳
- ・翻訳者たちの尽力によって、この時代までに主要な経典が中国へと伝えられた  
(インドでの経典の成立順序と異なったかたちで膨大な量の経典が伝えられたため、中国の人は経典内に説かれた学説の整合に苦心した。そこで生まれたのが「教相判釈」と呼ばれる中国仏教独自の経典把握方法)

隋唐代は中国仏教の諸宗派が成立した時代。

- ・インド関連の中国仏教・・・三論宗、律宗、法相宗、真言宗
- ・中国独自の学問仏教・・・天台宗、華嚴宗
- ・中国独自の実践仏教・・・三階教、禪宗、浄土宗  
(日本の仏教各宗派はほとんど中国の隋唐仏教の影響を受けて成立している)

第3期 隋・唐代に多種多様な仏教思想や文化が成熟し、中国仏教の最盛期

### 3-1 インド関連の中国仏教

#### 3-1-1 三論宗

- ・所依の経典：インド中観派の『中論』『十二門論』『百論』を合わせた「三論」。
- ・大成者：隋代の嘉祥大師吉蔵(549年 - 623年)が三論宗を大成した。

- ・教義：有無、断常（断見と常見）等の極端な考え方を離れて中道を重んずる。  
「縁起」と「無自性（空）」を説く。
- ・日本への伝搬：南都六宗の大安寺など。

### 3-1-2 律宗

- ・所依の經典：『十誦律』『四分律』『摩訶僧祇律』『四分律行事鈔』。
- ・大成者：唐代に南山律宗を開いた道宣が出て、戒律学を大成した。
- ・教義：戒律の研究と実践を行う。
- ・日本への伝搬：南都六宗の唐招提寺など。  
753年、鑑真が唐から招来され、唐招提寺を本拠として戒律研究に専念した。

### 3-1-3 法相宗

- ・所依の經典：『唯識三十頌』『成唯識論』『解深密經』など。
- ・大成者：唐代、インドから帰国した玄奘の弟子の慈恩大師基が大成した。
- ・教義：存在現象のあり方を、人間がどのように認識しているのかという研究。  
最終的には一切の存在現象はただ識に過ぎないとする（唯識）。
- ・日本への伝搬：南都六宗の興福寺、薬師寺など。

### 3-1-4 真言宗

- ・所依の經典：『大日經』『金剛頂經』『理趣經』など。
- ・大成者：唐代の不空三蔵や善無畏三蔵など。
- ・教義：宇宙の本体で大日如来を本尊とし、三密を修行し、即身成仏する。  
三密（身密・口密・心密）の修行により、本尊と一体となる。
- ・日本への伝搬：平安仏教の高野山金剛峰寺など。  
密教がインドで起こり中国を経て、空海（弘法大師）に伝えられ日本へ伝搬。

## 3-2 中国独自の学問仏教

### 3-2-1 天台宗

- ・所依の經典：『妙法蓮華經（法華經）』『大智度論』『涅槃經』など。
- ・大成者：隋の天台智顛（538年-597年）を実質的な開祖とする。

智顛は隋の皇帝煬帝の帰依を受け、天台山国清寺を建立し、天台宗を確立。

- ・教義：法華一乗（「誰もが平等に仏になれる」と説き、「久遠実成」の永遠性）
- ・日本への伝搬：平安仏教の比叡山延暦寺など。

入唐した最澄（伝教大師）によって平安時代初期（9世紀）に日本に伝搬。

### 3-2-2 華嚴宗

- ・所依の経典：『大方広仏華嚴経』（『華嚴経』）。
- ・大成者：隋の杜順（557年-640年）を開祖とする。
- ・教義：重々無尽の縁起を説き、もともと衆生には仏性が備わっているという思想。
- ・日本への伝搬：南都六宗の東大寺。

審祥によって736年に伝えられた。東大寺において『華嚴経』・『梵網経』を講義。その思想が反映されて東大寺盧舎那仏像が建立（743年-749年）された。

### 3-3 中国独自の実践仏教

#### 3-3-1 三階教（さんがいぎょう）

- ・所依の経典：『大方広十輪経』『大集経』など。
- ・大成者：隋の前、北斉の信行（540年 - 594年）が開いた。
- ・教義：如来蔵思想。その実践は乞食行。
- ・日本への伝搬：日本の融通念仏宗との関連性が指摘されている。

#### 3-3-2 禅宗

- ・所依の経典：「不立文字・教外別伝」をもって法門とするので所依の経典は立てない。
- ・大成者：隋の前、梁の時代、南インド出身の達磨を祖とする。
- ・教義：言語的・論理的な説明・伝達の不可能性を強調。  
言語・論理による分別智をもって苦の原因とした。坐禅を修行の中心とする。
- ・日本への伝搬：鎌倉時代の栄西（臨済）、道元（曹洞）、江戸時代の隠元（黄檗）。

#### 3-3-3 浄土宗

- ・所依の経典：『無量寿経』『観経』『阿弥陀経』など。
- ・大成者：唐の道綽・善導。

- ・教義：阿弥陀仏の極楽浄土に往生し成仏することを説く。  
阿弥陀仏の本願に基づいて念仏し、その浄土に往生しようと願う教え。
- ・日本への伝搬：法然（法然房源空、1133年-1212年）が浄土宗の開祖とされる。

安史の乱（755-763年）

安史の乱によって国家の庇護を失った中国仏教は、自給自足の必要も生じ、特に実践的な傾向を強めていった

玄宗皇帝 開元の治 李林甫 楊国忠 楊貴妃 安禄山 馬嵬駅の悲劇  
史思明 杜甫

「春望」杜甫

国破山河在  
城春草木深  
感時花濺淚  
恨別鳥驚心

烽火連三月  
家書抵萬金  
白頭搔更短  
渾欲不勝簪

白居易 『長恨歌』

.....

七月七日長生殿 夜半無人私語時  
在天願作比翼鳥 在地願為連理枝  
天長地久有時盡 此恨綿綿無絕期